





# 「紀伊半島移住プロモーション事業」これまでの取組

【事業目的】首都圏からの移住・定住を促進するため、同一の半島地域である奈良県・和歌山県・三重県が協働し、スケールメリットを生かし、紀伊半島を1つのエリアとして魅力をPRする移住プロモーションを実施し、情報発信力を高める。

## 第3ステージ 令和3年度～ with/afterコロナを見据えた紀伊半島における新たな「暮らし方」や「働き方」の提案

	令和4年度（事務局：三重県）	令和3年度（事務局：奈良県）
総事業費	10,409千円（三県均等負担3,469千円）	8,857千円（三県均等負担2,952千円）
内容	<p>(1) 暮らし体験ツアーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紀伊半島地域における新たな「暮らし方」や「働き方」を提案する暮らし体験ツアーの実施</li> <li>①農ある暮らし体験ツアー 三重県熊野市、和歌山県海南市 参加者8名</li> <li>②起業について学ぶツアー 奈良県吉野町、和歌山県かつらぎ町・田辺市 参加者7名</li> <li>③テレワーク体験ツアー 和歌山県那智勝浦町、三重県尾鷲市、奈良県東吉野村 参加者6名</li> <li>④地域づくりについて学ぶツアー 奈良県下北山村、三重県鳥羽市 参加者8名</li> </ul> <p>(2) オンラインセミナーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紀伊半島地域のPRや上記ツアーの集客を目的としたオンラインセミナーの実施 参加者83名</li> </ul> <p>(3) メディアによる効果的な情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアー集客のためのSNS広告の掲載</li> <li>・ツアーごとの開催レポートをTURNSのWEBサイトに掲載</li> <li>・ツアーについて雑誌『TURNS』に掲載</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;雑誌「TURNS」記事&gt;</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;暮らし体験ツアー&gt;</p> </div> </div>	<p>(1) ワークेशन体験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奥熊野（奈良県十津川村・下北山村／三重県熊野市／和歌山県田辺市本宮町）において、エリア横断型のワークेशन体験を実施 参加者10組12名</li> </ul> <p>(2) 地域コーディネーターの育成及び地域間連携・受入体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各エリアでの地域コーディネーターの育成（アテンド同行研修・業務研修・OJT研修等）</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;ワークेशन体験&gt;</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;地域コーディネーター研修&gt;</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>①奈良県十津川村（役場職員／講師）</li> <li>②奈良県下北山村（役場職員）</li> <li>③三重県熊野市（ゲストハウス運営）</li> <li>④和歌山県田辺市本宮町（ゲストハウス運営）</li> </ol> <p>(3) SNS等のメディアを活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各エリア及びエリア横断の紹介Note記事の配信</li> <li>・上記(1)参加者によるSNS(Instagram・Facebook等)の発信</li> <li>・地域活性化webメディア（greens）での記事配信</li> </ul>

# 「紀伊半島移住プロモーション事業」これまでの取組

【事業目的】首都圏からの移住・定住を促進するため、同一の半島地域である奈良県・和歌山県・三重県が協働し、スケールメリットを生かし、紀伊半島を1つのエリアとして魅力をPRする移住プロモーションを実施し、情報発信力を高める。

## 第2ステージ 平成30年度～令和2年度 紀伊半島を深く知ってもらい関わってもらう人を増やす。

	令和2年度（事務局：和歌山県）	令和元年度（事務局：三重県）	平成30年度（事務局：奈良県）
総事業費	9,734千円（三県均等負担3,245千円）	13,397千円（三県均等負担4,466千円）	13,362千円（三県均等負担4,454千円）
内容	<p>(1) キックオフイベントの開催（online）            ・プログラム参加者に対してキックオフイベントを開催            ・各地域関係者と参加者との意見交換を通して、地域滞在のイメージを醸成（11月3日）参加者20組</p> <p>(2) オンラインイベントの開催            参加者同士で「移住・多拠点居住を考えるきっかけ」や「移住に対する不安」など、意見交換を実施（計5回）参加者のべ32組</p> <p>(3-1) 現地滞在プログラムの実施            地域の仕事のお手伝いを通して、地域住民とのコミュニケーションを図り、地域の魅力・課題を認識            和歌山県 田辺市本宮町で実施            三重県 尾鷲市で実施            奈良県 吉野町で実施 参加者12名            ※コロナの影響により、12月下旬～受入中止</p> <p>(3-2) オンラインバーチャルツアーの開催            ・「現地滞在」の代替として、地域の魅力や地域住民を紹介するオンラインツアーを開催            ・地域の特産品に触れ、「現地」を感じてもらうことにより、来訪意欲を醸成 参加者19組</p> <p>(4) 最終報告会の開催            ・現地滞在を通じて「より移住や多拠点居住がしやすい地域になるため」の提案を発表            ・オンラインツアーを通じて「コロナ禍における地域発信を魅力的に発信するため」のアイデアを共有（2月25日）参加者9組</p> <p>＜キックオフイベント＞            (online)</p> <p>＜現地滞在＞</p>	<p>(1) 首都圏キックオフイベントの開催            ・東京都において「紀伊半島はたらく・くらすプロジェクト」キックオフイベントを開催（10月17日）            ・各地域コーディネーターが現地の概要や体験プログラムの内容をPRし、参加者と交流 参加者11名</p> <p>(2) 「紀伊半島はたらく・くらすプロジェクト」の現地開催            「暮らす、働く」を実践し、2拠点居住や副業（兼業）、関係人口を創出する中で「移住」の可能性を探るべく現地プログラムを実施（11月11日～12月6日）            三重県 尾鷲市で実施（11月11日～11月20日）参加者18名            奈良県 下北山村で実施（11月19日～11月28日）参加者11名            和歌山県 田辺市で実施（11月27日～12月6日）参加者15名</p> <p>(3) 首都圏報告イベントの開催            ・東京都において、「紀伊半島はたらく・くらすプロジェクト」output報告会を開催（12月19日）参加者19名</p> <p>＜首都圏キックオフイベント＞</p> <p>＜現地体験プログラム＞</p>	<p>(1) 週末お試し移住体験ツアーの実施            各県においてそれぞれのターゲット層に応じたモニターツアーを各2回開催            ○奈良県            下北山村 OL・働く女性3名/フリーランス 3名            ○和歌山県            田辺市・白浜町 フリーランス2名            有田市・有田川町・海南市 OL・働く女性3名            ○三重県            松阪市 子育て世帯 3名            亀山市 子育て世帯 4名</p> <p>(2) 紀伊半島カフェイベントの開催            「週末お試し移住体験ツアー」の参加者や先輩移住者が体験談、紀伊半島の魅力を語るイベントを都内で開催（3月9日）            第1部 紀伊半島ライフを語り合おう            場所：tiny peace kitchen 参加者11名            第2部 kii Life in Tokyo            場所：リトル・トーキョー 参加者25名</p> <p>(3) 市民参加型のWEBやSNS等を活用した情報発信            ・「紀伊半島サポーターズ・コミュニティ」立ち上げ            ・首都圏、地元住民で紀伊半島の魅力発掘隊を育成するスクーリング（養成塾）の開催            奈良県 下北山村で実施（12月15日）参加者28名            和歌山県 田辺市で実施（1月19日）参加者44名            三重県 尾鷲市で実施（1月26日）参加者17名            首都圏「紀伊半島魅力発掘サミット」の開催（3月2日）参加者29名</p> <p>＜週末お試し移住体験ツアー＞</p> <p>＜カフェイベント＞</p>
	 	   	 

# 「紀伊半島移住プロモーション事業」これまでの取組

【事業目的】首都圏からの移住・定住を促進するため、同一の半島地域である奈良県・和歌山県・三重県が協働し、スケールメリットを生かし、紀伊半島を1つのエリアとして魅力をPRする移住プロモーションを実施し、情報発信力を高める。

## 第1ステージ 平成27年度～29年度 紀伊半島の移住に関して認知度を向上させるためのプロモーション

	平成29年度（事務局：和歌山県）	平成28年度（事務局：三重県）	平成27年度（事務局：奈良県）
総事業費	14,507千円(三県均等負担4,836千円)	14,641千円(三県均等負担4,880千円)	14,885千円(三県均等負担4,962千円)
内容	<p>(1)WEBを中心としたメディアミックスによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・asoview!での移住×体験特集ページ開設</li> <li>・趣味と仕事を両立した新たなライフスタイルの提案動画の配信</li> <li>・「PEAKS」「ランドネ」「NALU」「Discover Japan」での移住者紹介記事掲載</li> </ul> <p>(2)首都圏在住の20代～30代をターゲットとした「しごと」や「働き方」をテーマにしたイベントの実施</p> <p>①渋谷キャストでのトークショーイベント（1月20日/参加者44名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「人生を謳歌する為の移住」</li> <li>・趣味誌の編集部員と趣味がきっかけで移住に至った方のトークイベント</li> <li>・紀伊半島の食材を生かした、投弾者・来場者との懇親会</li> </ul> <p>②渋谷キャストでのトークショーイベント（2月24日/参加者43名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「紀伊半島でみつけた、自分らしい仕事と働き方」</li> <li>・地域の魅力を生かした働き方、またフリーランサーの移住者トークイベント</li> <li>・紀伊半島の食材を生かした、投弾者・来場者との懇親会</li> </ul> <p>トークセッション参加者数 のべ87名</p>  <p>&lt;趣味雑誌&gt;</p>  <p>&lt;動画制作&gt;</p>  <p>&lt;移住者トークイベントの様子（渋谷キャスト）&gt;</p>	<p>(1)紀伊半島地域で「働く」ことをテーマとした企画の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京在住のクリエイターに紀伊半島での暮らしを体験してもらいモニターツアーの実施及び発信</li> </ul> <p>(2)紀伊半島地域での働き方や暮らし方などを専門誌やインターネット等複数の媒体でPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑誌『Discover Japan』11月号、1月号、3月号での紀伊半島での暮らしを体験してもらいモニターツアーに関する記事掲載</li> <li>・雑誌『ランドネ』3月号での三県移住者に関する記事掲載</li> <li>・『Discover Japan』ウェブサイト内特設ページ、フェイスブックでの情報発信</li> <li>・抜き刷り冊子制作</li> </ul> <p>(3)都内の飲食店等における一定期間の移住プロモーション事業の実施</p> <p>①渋谷シティラウンジでのプロモーション(2月6日～3月14日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紀伊半島の移住者の日常を捉えた写真を中心に店内装飾(パネル展示・ランチョンマット等)を実施</li> <li>・紀伊半島の食材を使用したメニューの提供(提供例:紀伊半島3種のごちそう丼セット)</li> <li>・三県移住者及び三県へのモニターツアー参加者によるトークイベント開催(3月4日/参加者60名)</li> </ul> <p>②丸の内ハウス内3店舗(MUSMUS・来夢来人・TIKIBAR)でのプロモーション(2月20日～3月5日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紀伊半島の移住者による3県の魅力発信ポスター等の掲載</li> <li>・紀伊半島の食材を使用したメニューの提供(提供例:紀伊半島ばっかり蒸しセロコはん)</li> <li>・三県移住者トークセッション等のイベントの開催(3月1日/参加者31名)</li> </ul> <p>トークセッション参加者数 のべ91名</p>   <p>&lt;抜き刷り冊子&gt; &lt;ランチメニュー&gt; (渋谷シティラウンジ)</p>  <p>&lt;移住者トークイベントの様子（MUSMUS）&gt;</p>	<p>(1)渋谷シティラウンジ店舗連動型イベントの実施</p> <p>①渋谷ロフト2階「渋谷シティラウンジ」にてPR(1月5日～1月31日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展示・ランチョンマット等による店内装飾</li> <li>・紀伊半島エリア食材を使った料理提供</li> <li>提供例:紀伊半島のごちそうプレート (三重県伊勢まだいの岩塩グリル、和歌山県めはり寿司・紀州うめ鶏のエスカベッシュ、奈良県いちごマカロンを盛り合わせたプレート)</li> </ul> <p>②三県移住者によるトークセッション(1月30日/参加者98名)</p> <p>③渋谷ロフト1階「間坂ステージ」での特産品等展示・販売(1月13日～1月27日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルやパンフレット等の情報媒体の展示に加え、3県を代表する品々の展示販売も実施</li> <li>(上記期間中に183点25万円超の売上)</li> </ul> <p>④雑誌「Discover Japan」による広報</p> <p>⑤抜き刷りパンフレットの作成</p>  <p>(2)三重テラスでの移住者トークセッション(1月23日) &lt;雑誌「TURNS」記事&gt;</p> <p>①三県移住者によるトークセッション(参加者35名)</p> <p>②雑誌「TURNS」による広報</p> <p>トークセッション参加者数 のべ133名</p>  <p>&lt;間坂ステージ(渋谷ロフト)で販売&gt;</p>  <p>&lt;渋谷シティラウンジ&gt;</p>